

## 薬学実習 3

責任者・コーディネーター	病態薬理学講座薬剤治療学分野 三部 篤 教授		
担当講座・学科(分野)	病態薬理学講座（分子細胞薬理学分野、臨床医化学分野、薬剤治療学分野）、臨床薬学講座地域医療薬学分野		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	実習 40 時間 (20 コマ)
期 間	前期		
単位数	1 単位		

## ・学修方針（講義概要等）

薬学実習3では、患者さんの状態を把握する手段として、脈拍、血圧などのバイタルサインの測定や視診、触診、聴診といった「フィジカルアセスメント」によって患者さんから直接情報を得る能力を身につける。さらに、医療薬学および症例・処方解析学に関連する講義で得た種々の疾患の病態と薬物治療に関する基本知識に基づき、指定された症例について情報を集めてグループ討議を行う。本実習は、「フィジカルアセスメント実習」と「症例解析学実習」の連携を図りながら、実務基礎実習と連動して系統的に行う。

## ・成績評価方法

全日程の出席と、「フィジカルアセスメント実習」と「症例解析学実習」のどちらにも合格することが必要である。評点は「フィジカルアセスメント実習」を50%、「症例解析学実習」を50%で、100点満点とする。ただし、不合格となる実習がある場合は、不合格となった実習の成績をもって最終評点とする。

## ・特記事項・その他

担当分野からの指示が記載されている場合には、それに従うこと。記載がない場合には、各実習時期に担当分野からの指示に従うこと。